
鴻池運輸、インドで物流向け医療材料DBを構築

Edited By LogisticsToday On 2013/08/30

鴻池運輸は8月30日、メディアスホールディングス(東京都中央区)との共同出資により、インドで医療材料データベースの構築・配信や、医療材料データベースを用いた物流ネットワークの構築などを行う合併会社を設立することに合意した、と発表した。

新会社は社名を「メディカル・データベース社」とし、インド北部ハリヤーナ州グルガオン市に設立。鴻池運輸が70%を出資する。

インドでは、医療関連需要が大きく伸びるとみられているが、病院が注射器、注射針、カテーテルなどの医療材料を独自の名称やコードで在庫管理や卸会社へ発注しているため、誤発注、誤納品、欠品、超過在庫などが発生している。

そこで、医療材料の標準(統一)コードの制定と医療材料データベースの構築によるシステム基盤整備が不可欠と判断し、医療材料データベース会社の設立を決めたもの。

新会社は、同社が国内で培った医療関連サービスと、メディアスホールディングスが提供する「病院向け医療材料データベースサービス」のノウハウを活かして物流ネットワークを構築する。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/73034>

Copyright © 2021 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.